

女性協ニュース

↓ 取り組み報告やチラシ・ニュース募集!

FAX: 03-3875-6270 e-mail: n-ask@irouren.or.jp



安倍政権が、今国会で成立を目論む「戦争法案」にレッドカードをつきつけようと、6月20日(土)「女の平和」国会包囲行動が開催され、15,000人を超える女性が国会に集結しました。日本医労連からは、三浦宜子書記長はじめ、全医労、全日赤、東京医労連女性部含め11名が参加しました。(写真上)

この集会は、「戦争法案の成立は、絶対に認めません」の共通の思いで、レッドカードの「赤」、怒りの「赤」を身につけ国会議事堂を人間の鎖で囲もうと、湯川れい子さんら著名人13名の呼びかけで、開催されたものです。

著名人の発言が続くなか、労働組合を代表し、日本医労連の三浦宜子書記長が発言し、東京医労連女性部の仲間が横断幕で応援しました。(三浦書記長発言要旨は2頁に掲載)

三浦書記長の力強い訴えに、参加者から、ひときわ大きな拍手が沸き起こりました。

女性たちは、家族を、愛する人を、息子を、孫を、誰一人戦争には行かせません。正しい戦争なんてどこにもないと、何度も手をつなぎ、「戦争法案いまずぐ廃案!」を唱和しました。

安倍政権は、数の力で戦争法案を強行しようとしています。

私たち医療労働者は、数と団結の力で押し返しましょう!!



【6・20「女の平和」三浦書記長発言要旨】

かつて医療労働者は戦争に動員され多くの犠牲を出しました。戦争への協力を強いられた先輩たちの苦い経験から、「ふたたび白衣を戦場の血で汚さない」を合言葉に平和を守る運動をしてきました。

いのちをまもる医療労働者は「戦争する国づくり」を許さないと、全国各地で立ち上がっています。

軍備を増強し戦争にむかうとき、いのちや人権がそまつにされ、社会保障が削られます。この国の在り方を決めるのは安倍さんではなく、私たち主権者国民です。

医療労働者は二度とふたたび、戦争に協力しない、皆さんと一緒に戦争法案を廃案にし、平和憲法を生かした、いのちが大切にされる社会めざしてがんばりましょう。

2015年秋 第45回 女性代表者会議開催

日時

2015年11月7日(土) 午後～
11月8日(日) 正午まで

場所

会議 / 日本医療労働会館2階
懇親 / 浅草ビューホテル
(26階スカイグリーン武蔵)
宿泊 / 浅草ビューホテル
(フォースルーム)

参加費

1泊2食 / 16,000円
懇親のみ / 5,000円
(金額は予定で現在交渉中です！)

※確定次第、発文書にて、
お知らせいたします。

「戦争法案」関連の行動や集会の写真を募集しています。もれなくクオカードを差し上げます。
詳しくは、日本医労連女性協へ



～女性協活動プチ報告～

日本医労連女性協の、山口早苗議長(全日赤)が、熊本県医労連の中嶋書記長はじめ4名で、熊本県庁内にある雇用均等室を訪問・懇談してきました。

熊本県内の医療職場からの相談(セクハラ1件、マタハラ1件)をうけ、相談があった際に、均等室はどのような対応をするかなどを聞くため訪問したものです。均等室からは2名の指導官が対応しました。

相談があった場合、大きな事業所に対しては年1回程度訪問し規定・規約などをチェック。法違反に対しては、是正指導・報告書の提出・勧告書の発行・企業名公表など、内容に応じて、段階的に対応していくそうです。

相談室は、防音になっており、職員の8割近くが若い女性、プライバシーにも配慮され、相談しやすい環境が整っているそうです。相談内容によって、担当が違うそうですが、まずはどんどん均等室を活用しましょう！

日本医労連女性協は、7月3日(金)厚生労働省雇用均等室と、医療現場の実態について懇談します。懇談の様子は、ニュースでお伝えいたします。
m()m